

# 校長室からのお知らせ

11月25日号 NO.30

岸和田市立山直北小学校  
校長 尾野 武志

## 魔の11月

「6月と11月は子どもの様子が変わり、学校の雰囲気が悪くなる危機が起こりやすい。」とされています。6月は、新しい学年になり2か月が過ぎ、1日の生活の流れが分かるころです。そのため、毎日毎日が同じことの繰り返しに感じ、ダレてくる様子が見られるようになります。

また、6月は季節も変わり始め、気温が上がりジメジメとした梅雨も重なり、外で遊ぶことができない日が続いたりもします。当然のこととも言えますが、子どもにもストレスがたまり、普段なら我慢できることが耐えられなくなったり、言わないでもいい余計な一言を口走ってしまったりとトラブルに発展することが多くなります。

11月は、大きな行事である運動会や修学旅行、遠足や音楽会などが終わってしまい、子どもたちにとっての目標がなくなり気持ちが緩んでしまうことが原因の荒れが見られることが多くなります。学校でも十分に気を引き締め、子どもたちを見守っていくことに一致団結しながら取り組んでいきますが、ご家庭においても保護者のみなさまの協力をお願いいたします。

下記の項目をチェックしていただき、気になることがございましたら連絡をお願いいたします。

- ことば遣いが悪くなった
- 話を聞こうとしてもあまり答えなくなった
- 名前を呼んでも返事をしなかったり、聞こえないふりをしたりする
- 表情に明るさがない
- 一人で過ごすことが増えた
- 子どもから聞く友だちの名前が変わった
- 服装の趣味が変わった
- ノートやプリントの文字や扱いが雑になった
- スマホが手放せなくなっている
- 家族よりも友だちを優先している

子どもを守るために、早期発見と早期対応にご協力をお願いします。